

町立下川小学校（内装木質化）

■所在地	北海道上川郡下川町西町 40 番地	■木材使用量	55m ³
■設置者	下川町	■うち地域材	55m ³
■構造	鉄筋コンクリート造・木質内装	■使用樹種	主にカラマツ、トドマツ
■延床面積	2,487m ²		



◆施設の概要

森林資源が豊富で林業・林産業が盛んな下川町の地域特性を活かし、学校施設において環境に配慮したエコスクールとして、地域材を利用した内装木質化を実施しました。

本施設は、昭和 46 年に建築された鉄筋コンクリート造の小学校であり、今回の内装木質化により 1 階から 3 階について、地域材を活用しながらタイル床をフローリングに改修し、さらに腰壁等を新たに設置しました。

◆工法等の特徴

校舎内の教室、玄関、廊下、階段、職員室などの床、腰壁、柱、梁部分を地域材に張り替え、また、教室の引き戸、ロッカーなども地域材製に取り替えました。特徴として、各階で異なる樹種を使用し、1 階はミズナラ、2 階はタモ、3 階はシラカバなどとし、樹種がわかるように表示しています。

◆整備に当たり工夫したこと

児童が多く利用している箇所を優先し、夏休み期間中に普通教室、廊下、玄関の床や腰壁を張り替え、2 学期から木の温もりのある環境で授業をスタートすることができました。

◆利用者の声

児童からは「森にいらなくても木の香りを感じて気持ちいい。場所によって木の香りも違う。」、また、同校では「校舎が明るくなり、木の温もりを感じる。地域材を使っているので、森林のまち・下川への愛着が深まる。森林環境教育と併せて、児童の古里への思いを育てていきたい。」といった声が寄せられています。